

第78回国民スポーツ大会（国スポ）陸上競技大会選手選考の方針（担当：強化部）

今年度の国体について

2024年第78回国民スポーツ大会 陸上競技大会は、2024年10月11日（金）～10月15日（火）佐賀市「SAGAサンライズパークSAGAスタジアム」において実施されます。長野県スポーツ協会が示す充実期（2022年～2025年）の目標達成のため、競技別順位10位内、獲得得点（素点）65点以上、入賞数15以上を目指します。

(1) 種目（別紙 2025年度 佐賀国スポ選手選考基準記録 参照）

(2) 種別

成年：2006年（平成18年）4月1日以前に生まれた者

少年A：2006年（平成18年）4月2日～2008年（平成20年）4月1日までに生まれた者

少年B：2008年（平成20年）4月2日～2010年（平成22年）4月1日までに生まれた者

少年共通：2006年（平成18年）4月2日～2010年（平成22年）4月1日までに生まれた者選考

国体陸上競技実施要項および普及強化委員会強化部長野県選手選考の方針に基づいて実施し、普及強化委員会及び長野陸協理事会で確定したものを、県スポーツ協会へ推薦しそこで確定される。

(3) 国スポ陸上競技実施要項 日本陸連公式サイト参照 QRコード→



(抜粋 全都道府県共通の注意事項)

詳細は要項のP21～P25

3 種別(種目)及び参加人数

(1) 各都道府県の参加は、下記の出場制限によるものとする。(一部省略)

ア 1種目1名、同一人の出場は2種目までとする。ただし、リレーを除く。

エ 男女混合4×400mリレーの編成は、男女2名ずつとし、合計8名以内で申し込むこと。男女とも少年Aもしくは少年Bから各1名、残りの男女各1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とする。

カ 成年男子10000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選会を経た者でもよい。少年男子共通5000m競歩、成年女子5000m競歩の出場者は、10000m競歩又は3000m競歩、いずれかの予選会を経た者でもよい。(キ・ク・ケ)成年男子三段跳、成年女子5000m競歩および成年女子棒高跳には、少年区分からもエントリーできる。

コ 少年男子B3000mの出場者は、1500mの予選会を経た者でもよい。

サ 成年男子300m・少年男子A300m・成年女子300m・少年女子A300mの出場者は、100m、200m、400m、いずれかの予選会を経た者でもよい。

シ 少年男子A300mハードル及び少年女子A300mハードルの出場者は、200m、400m、300m、110mハードル/100mハードル、400mハードルいずれかの予選会を経た者でもよい。

(ただし予選会におけるハードルの高さやハードル間の長さ等の規格は限定しない)

※当該種目の公認記録がない場合は、資格記録なしとして番組編成を行う。

4 競技上の規則及び方法

2024年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、下記の要領で実施する。

(1) 少年男子A300mハードルの、ハードルの高さは、0.914mとする。

(2) 少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.000kgとする。

(3) 少年男子Aやり投のやりの重さは、800gとする。

(4) 少年男子B110mハードルの、ハードルの高さ/ハードル間は、0.991m/9.14mとする。

(5) 少年男子B円盤投の円盤の重さは、1.500kgとする。

(6) 少年女子A100mハードルの、ハードルの高さ/ハードル間は、0.838m/8.50mとする。

(7) 少年女子A300mハードルの、ハードルの高さは、0.762mとする。

(8) 少年女子A砲丸投の砲丸の重さは、4.000kgとする。

(9) 少年女子Aやり投のやりの重さは、600gとする。

(10) 少年女子B100mハードルの、ハードルの高さ/ハードル間は、0.762m/8.50mとする。

(11) 少年女子B円盤投の円盤の重さは、1.000kgとする。

(4) 普及強化委員会強化部長野県選手選考の方針について

ア 参加資格（成年種別の県外在住者は、a) に加え b) の要件が必要）

a) 国スポ参加資格の得られる大会（「兼 国スポ予選会」）※1においてその種目に出場し、参加資格を有する選手であること。（「国民スポーツ大会予選会免除に関する要領」※2、※3により、都道府県の予選会を免除されている選手は除く）

※1 国スポ参加資格の得られる大会（「兼 国スポ予選会」）

長野県春季大会 長野県選手権大会 長野陸上競技協会が主催する各トライアル大会

長野県高等学校総合体育大会、長野県中学校総合体育大会、長野県中学校通信陸上競技大会

※2 「国民スポーツ大会予選会免除に関する要領」の該当者は、上記大会は免除される。

※3 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の該当者は、上記大会は免除される。

b) 長野県選手として国スポに参加意思のある成年種別の県外在住者は、長野陸協選手登録および他の都道府県陸協選手登録に関わらず、ふるさと選手登録（長野県内の中学校又は高等学校を卒業）をした選手であること。（ふるさと選手登録については、長野陸協ホームページ参照）

イ 選考方法

基準記録有効期限内の各種競技会の基準記録の突破、今年度の実績（国際大会、全国大会等の順位、各種大会や記録会の記録と全国ランキング）※4を総合的に判断し選考する。

※4 実績を参考とする競技会

各種国際大会 日本選手権大会 日本学生陸上競技個人選手権大会 北信越中学校総合体育大会

全国・北信越高等学校総合体育大会 上記※1に示した長野陸協が主催する大会

ウ 実施種目および長野県選手選考の基準記録（別紙参照）

A基準記録・・・上位入賞可能な基準

B基準記録・・・下位入賞可能な基準

エ 選考の優先順位（下記①から順次選考する）

① 基準記録Aを突破し、上位入賞の可能性が高い選手

② 基準記録Bを突破し、下位入賞の可能性が高い選手

③ 4×100m リレーおよび男女混合 4×400m リレー枠該当者（入賞の可能性がある場合）

④ 普及強化委員会強化部が今年度参考とする競技会の実績を総合的に判断し、入賞の可能性を評価した選手

オ 基準記録の有効期限

2024年（令和6年）1月1日～2024年（令和6年）8月7日（3000m以上のトラック競技は2023年（令和5年）

9月1日～2024年（令和6年）8月7日）まで

カ 「国スポ陸上競技実施要項」における強化部の補足

3-カについて

成年女子 5000m 競歩は、3000m 競歩からの選考はしない。5000m 競歩または 10000m 競歩の基準記録突破者からの選考とする。

3-コについて

少年男子 B3000m は、1500m からの選考はしない。3000m の基準記録突破者からの選考とする。

3-サについて

300m は、100m、200m、400m の基準記録突破者からの選考もある。

3-シについて

300mH は、200m、400m、400mH の基準記録突破者からの選考もある。110mH（男子）、100mH からの選考はしない。

4-(4)について

少年男子 B110mH は、高さ/ハードル間が、1.067m/9.14m の基準記録突破者からの選考もあるが、国スポ出場資格の得られる大会（「兼 国スポ予選会」）において高さ/ハードル間が、0.991m/9.14m の規格に出場していなければならない（参加資格が必要）。

4-(5)について

少年男子 B 円盤投は、円盤の重さ 1.75kg の基準記録突破者からの選考もあるが、国スポ出場資格の得られる大会（「兼 国スポ予選会」）において 1.5kg の規格に出場していなければならない（参加資格が必要）。

4-(6)について

少年女子 B100mH は、高さ/ハードル間が、0.838m/8.50m の基準記録突破者からの選考もあるが、国スポ出場資格の得られる大会（「兼 国スポ予選会」）において高さ/ハードル間が、0.762m/8.50m の規格に出場していなければならない（参加資格が必要）。